



産業感謝祭 サンマのつかみどりに殺到

9月24日、厚岸地域産業振興協議会（厚岸漁業協同組合、釧路太田農業協同組合、厚岸町商工会）主催の『第9回あっけし産業感謝祭』が厚岸漁港市市場荷捌所内で行われました。

会場内は、海産物やあっけし極みるく65、シイタケなど、厚岸の海と山の恵みを買求める多くの人で埋め尽くされました。今年はサンマが不漁でしたが、人気のサンマつかみ取りは予定どおり行われ、一匹でも多くつかみ取ろうと気合いが入っていました。

ファミリーマラソン 生懸命走りました

10月9日の体育の日に、『ファミリーマラソン大会』が行われ、67人が参加しました。

種目は宮園運動公園内を周回する1・5km、3km、4kmの3コース。親子での参加のほかに、そろいのウェアを着たバスケットボールチームや陸上チームでの参加もありました。

沿道からは保護者や友だちなどが「頑張れ！」と声援を送る姿も。寒い中でのマラソンでしたが、最後まで走りきり、ゴールでは爽やかな汗を流していました。



消費生活講演会 笑って手口を学びました

10月14日、落語家の林家染二さんを講師に「知れば安心！消費者トラブル笑ってガード」と題した『消費生活講演会』が厚岸情報館で行われました。

講演では「悪質商法を『知っ得』ことが大切です」「ええ男とべっぴんさんには気をつけて」と呼びかけ、身近で起こっている悪質商法の手口を面白おかしく紹介。悪質商法を盛り込んだ創作落語も披露され、大笑いしながら詐欺の手口を学びました。



きのこの森づくり 空の下で収穫祭

9月30日、森林センターで『きのこの森づくりと収穫祭』が行われ、炭作りと春に植えたシイタケのほだ木の本伏せ作業のほか、ジャガイモとカボチャの収穫祭を行いました。

移動式炭化炉による炭づくり体験では、ミズナラの木をみんなで詰め込んで、点火まで行いました。

園内にある畑では、ジャガイモを収穫。今年は出来が良く、大きなジャガイモがたくさん収穫できました。最後に全員でキノコ汁とジャガイモの塩煮を食べ、秋を満喫しました。



第55回あっけし牡蠣まつり もいっきりカキを堪能

9月30日から10月9日までの10日間、子野日公園で『第55回あっけし牡蠣まつり』が行われ、期間中は3万8800人が訪れました。

毎年恒例の牡蠣のつかみどりは、80人限定のイベントで、くじ引きには長蛇の列ができるほど。第55回を記念したカキが当たる餅まきも行われ、ステージ前にはたくさんの人が集まりました。

1日には、歌詞に厚岸が登場する『花咲線～いま君に会いたい～』を歌う松原健之さんの歌謡ステージ、8日は厚岸のイメージソングを歌うヒートボイスのライブもあり、会場が盛り上がりました。

戦没者追悼式 冥福を祈って

10月5日、社会福祉センターで『厚岸町戦没者追悼式』が行われ、遺族や関係者らが参列しました。

厚岸町の戦没者は245人。会場には戦没者の遺影が並び、参列者全員でステージにある祭壇に献花し、戦没者の冥福を祈りました。遺族会を代表して今村實さんが「多くの遺族が高齢となり、参加できない人は多くなってきていますが、多くの犠牲があったことを忘れないためにも、今後も引き続き戦没者追悼式を開催していきます」とあいさつしました。



食育教室 サンマの三枚おろしに挑戦

10月4日、厚岸中学校1年生22人を対象に『食育教室』が行われました。

サンマは厚岸漁業協同組合の提供。生徒のほとんどは三枚おろしをするのが初めての経験でした。今回のサンマは小さく、さばきに良かったのですが、厚岸漁業協同組合女性部の皆さんに教わりながら上手にさばき、かば焼きにして味わいました。この食育教室は、真龍中学校と太田中学校でも行われました。

